



● 都市防災委員会
外海 開三



● 文教子ども委員会
三木 しんじろう



● 企業建設委員会
住本 かずのり



● 総務財政委員会
山本 のりかず



● 経済港湾委員会
高橋 としえ



● 福祉環境委員会
黒田 武志

この度の大阪府北部地震および西日本豪雨災害により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、犠牲になられた方々のご遺族に対しては深くお悔やみ申し上げます。会派所属議員一同、被災地の一日も早い復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。

- 政務活動費 約50%返還
- 議員期末手当議案反対
- 費用弁償の廃止提案
- 地方議員年金制度の復活反対
- 議員定数削減提案
- ➡ 自らの報酬で行う政務活動
- ➡ 3年連続、増額分を全額寄付
- ➡ 交通費の実費精算
- ➡ 反対意見書議案を提出
- ➡ 同規模都市との比較から定数減

■ 垂水区のいじめ隠蔽問題について

2016年10月に神戸市垂水区で起きた市立中学校3年生の女生徒が自死した件について、教育委員会の首席指導主事が当時の校長に生徒6人からの聞き取りメモの存在を隠蔽するように指示していることが発覚しました。

当該職員による「いじめ隠蔽問題」は神戸市の教育行政を揺るがす事態であり、ご遺族の気持ちや要望を全くないがしろにしたものと言えます。

二度とこのようなことが起きないように、我が会派は真相究明するとともに神戸市いじめ対策基本方針に罰則規定を盛り込むことを提案しました。長田教育長は、委員会にて前向きに検討していくことを表明しております。なお大阪市では、「大阪市いじめ対策基本方針」において、いじめに関する情報を隠蔽した教職員に対しては、懲戒処分等の厳正に対処することが明記されています。

兵庫県では、SNS(LINE)の活用による、いじめを早期発見していく取組みを始めようとしています。神戸市でも時代に応じたSNS(LINE)等を活用した取組みを進めるべきと提案しました。時代とともに子どもたちの相談方法も変わっていくので、早期にいじめを発見し、防止に繋がりたいと考えます。

■ 神戸市立中学校(垂水区)の女子中学生自死に関してのこれまでの経緯

2016年10月06日	神戸市垂水区の河川で女子中学生が倒れているのが発見される
2016年10月11日	学校の教員から関係者生徒6名にヒアリングし、いじめの事実を伝え、メモを作成
2016年10月20日	教員委員会が第三者委員会を設置し、調査開始(非公表)
2017年03月06日	前首席指導主事の指示により、前校長は遺族に「メモの記録はない」と文書で回答
2017年08月08日	第三者委員会は一部いじめの事実を認めるが、自死の直接的な原因をいじめとは認定せずに報告書を作成 また、メモは「破棄された」と報告書に記載
2017年08月下旬	現校長がメモを保管していると教育委員会に連絡したが、教育委員会是对応せず
2018年03月12日	遺族が、第三者委員会による調査報告書について「承知できない」とする書類を提出
2018年04月12日	現校長がメモを保管していることを教育委員会に再度訴え、メモを提出
2018年04月22日	教育委員会がメモの問題を隠蔽ではなく、職務怠慢と発表
2018年04月29日	第三者委員会がメモの内容が報告書に反映されているかどうか検証することを決定
2018年05月02日	教育委員会が委託した外部の弁護士2人が、メモの扱いについて当時の一部担当者に確認する調査を開始
2018年06月03日	教育委員会の前首席指導主事が前校長にメモの隠蔽を指示したことを弁護士が発表
2018年07月30日	文教子ども委員会にて2名の弁護士からヒアリング

■ 教育委員会の組織改革について

昨年度は33人の神戸市職員が懲戒処分を受け、その内の約60%の19人が教育委員会という結果になっています。

今年度も既に教員の懲戒処分が頻発しており、議会からは綱紀粛正の通達をしております。

本市の教育行政に対する信頼が失墜している最中、教員による度重なる不祥事の要因分析を行うとともに、早急に抜本的な対策を講じるべきです。教員が外部との人事交流を通じて、意識改革を行うことも一つの方法と考えます。

